

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100722
事業所名	グループホーム 安城福釜の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 重度化が進み、ホームの外へ大勢で出かける機会は無くなったが、成人式や盆踊り、秋祭り等の季節の行事には利用者が職員と共に見物に出かけている。地域の神明神社の秋祭りには子供みこしがホームを訪れ、利用者がお礼の袋詰めお菓子を振る舞った。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 毎偶数月に運営推進会議を開催し、利用者の代表をはじめ、市の担当者や地域包括支援センターの職員、町内会長、民生委員等がメンバーとして名を連ねており、ホームからの報告に続き、参加者による活発な意見交換がある。ホームからの呼びかけはしているものの、運営推進会議への家族の参加が乏しい。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、市の高齢福祉課の担当者だけでなく地域包括支援センターの職員も出席し、ホームの運営状況を把握している。生活保護受給者が9名利用しており、社会福祉課の担当者がしばしばホームを訪れ、相互に緊密な連携を取っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議への家族参加は少ないが、ホーム訪問は頻回にあり、ほぼ毎日訪れる家族もいる。生活保護受給者で親戚縁者のいない利用者には、援護会等から担当者が訪れて家族の代役を務めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎		